

NETIS登録番号		技術名称		ウイングロック植生工法		
QS-980189-V		副題		既設モルタル・コンクリート吹付面の緑化工法		
分類1	共通工	法面工	植生工	厚層基材吹付工	キーワード:『環境』,『コスト縮減・生産性の向上』	
分類2						
開発目標		環境・景観面で問題点が指摘されるモルタル・コンクリート吹付面に対し、全面緑化を可能にする。				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input type="checkbox"/> 設計比較対象技術	<input type="checkbox"/> 少実績優良技術	
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号: 第2912992号, 第2939850号)				<input type="checkbox"/> なし	
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明					
問合せ先	会社名	ウイングロック協会			TEL	0584-81-3232
	住所	岐阜県大垣市河間町3-55 イビデングリーンテック棟内			E-MAIL	info@wing-rock.com
	担当者	後藤 茂之				
実績件数	国土交通省		その他の公共機関		民間等	
	H26.8.1現在 138 件		340 件		17 件	

技術概要: (300字以内)

「ウイングロック植生工法」は、環境・景観面で問題点が指摘されているモルタル・コンクリート吹付面に対して、全面緑化を可能にした技術である。羽板付アンカー「ウイングアンカー」によって厚みのある二層構造の生育基盤を造成し、モルタル・コンクリート吹付面の劣化抑制を図るとともに、周辺環境に調和した植生のり面を造成することを目的として開発されたものである。
当工法は、既設・新設を問わずモルタル・コンクリート吹付面の再緑化に適用できる。また、従来は緑化が困難とされてきた硬質岩盤地や強酸性土壌にも適用が可能である。

記入欄

【期待される効果】

- 既設のモルタル・コンクリート吹付面を取り壊さないため、建設副産物の発生が少なくなる。
- 防護策設置等も簡易なもので対応できるため、交通規制を軽減でき、工期の短縮を図ることができる。
- モルタル・コンクリート吹付面を削孔するため、地山からの水分補給ができ、植物の生育性が向上する。
- 地山への植物根系の侵入が可能になり、生育基盤の安定性が向上する。
- 厚みのある生育基盤を造成して全面緑化を図るため、モルタル・コンクリート吹付面の劣化を抑制することができる。
- 硬質岩盤や強酸性土壌に対しても、厚い生育基盤を造成することで全面緑化が可能になる。

【適用条件】

- 1:0.5より緩い勾配に適用する。
- 対象のり面は既設および新設のモルタル・コンクリート吹付面、硬岩、軟岩等。

【施工単価】 ※「建設物価」2014年7月号掲載価格 (p.820)

- 8, 545円/㎡ (勾配1:1.0~1.2, ウイングアンカー1本/2㎡のとき)
- 9, 833円/㎡ (勾配1:0.8~0.9, ウイングアンカー1本/㎡のとき)



▲ 施工状況 (基盤砂吹付工)



▲ 無機質なコンクリート面に植生のり面を創出



▲ 施工前



▲ 施工後2年